

令和4年(2022年) 2月28日(月) 13830号



株式会社日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL: 06-6353-7831
 FAX: 06-6353-7832
 MAIL: metal_info_osaka@nikkankinzoku.co.jp
 WEB: https://home.nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12か月 77,760円 外電配信料 12か月 92,400円
 6か月 38,880円 6か月 46,200円

産業電子機器12月受注

ほぼ全面的 前年比ダウン

JEITA

一般社団法人電子情報技術産業協会(綱川智会長)はこのほど、12月の産業用電子機器受注統計をまとめ発表した。無線応用装置のうちレーダの内需が前年同月比61.0%減少し、同装置は同45.1%の減。移動局通信装置では携帯電話の内需が同31.5%減少し、同装置で同43.1%減少となった。

無線通信機器は全体の受注計で同37.7%減の575億2700万円。うち放送装置は77億7100万円、同53.3%増となる一方、固定通信装置は94億8100万円、同14.9%減、基地局通信装置は62億3300万円、同59.9%減、移動局通信装置220億8600万円、同43.1%減、無線応用装置119億5600万円、同45.1%減と軒並みダウンした。

また、業務用映像装置は同1.8%減の130億8100万円。超音波応用装置は同39.4%減の78億5300万円。電気測定器は同8.1%減の48億8900万円となった。

2021年12月 産業用電子機器 受注統計

	需要計				内需				外需			
	2021年12月	%	累計 (4月~12月)	%	2021年12月	%	累計 (4月~12月)	%	2021年12月	%	累計 (4月~12月)	%
無線通信機器	57,527	62.3	494,762	86.7	50,845	58.6	415,395	80.1	6,682	117.9	79,367	152.9
放送装置	7,771	153.3	54,766	100.6	6,783	167.6	44,931	96.0	988	96.9	9,835	128.9
無線通信装置	37,800	57.7	350,305	84.7	35,097	55.3	301,627	77.4	2,703	132.4	48,678	203.3
固定通信装置	9,481	85.1	80,989	77.4	7,675	77.3	69,083	73.4	1,806	149.8	11,907	113.7
移動通信装置	28,319	52.1	269,316	87.2	27,422	51.2	232,544	78.7	897	107.4	36,772	273.0
基地局通信装置	6,233	40.1	100,590	135.9	6,075	39.1	68,857	104.9	158	753.3	31,733	377.0
移動局通信装置	22,086	56.9	168,726	71.9	21,347	56.1	163,687	71.2	739	90.7	5,039	99.7
無線応用装置	11,956	54.9	89,691	87.2	8,965	46.8	68,837	83.4	2,991	114.7	20,854	102.6
業務用映像装置	13,081	98.2	122,464	114.8	4,399	81.2	43,064	89.0	8,682	109.9	79,400	136.1
超音波応用装置	7,853	60.6	58,309	86.9	3,001	35.5	24,346	75.6	4,852	107.9	33,963	97.4
電気測定器	4,889	91.9	42,532	103.2	1,458	73.5	11,093	114.6	3,431	102.8	31,439	99.7

スパッタリングターゲット撤退

中国、アジア企業との競争激化

三菱マテリアル

三菱マテリアル株式会社(小野直樹社長)はこのほど、半導体など先端材料に必要な薄膜形成材料の「スパッタリングターゲット」事業から撤退すると発表した。

中国をはじめアジア企業との競争が激化しており、採算改善が見込めないことから決定した。

同社はアルミニウム事業の売却を決めるなど低収益事業について見直し、事業ポートフォリオの最適化として経営資源を銅加工など成長分野に集中させている。

同事業は、1983年から製造・販売を行ってきたが、アジア圏におけるローカルサプライヤーの台頭などにより競争環境が激化。

高機能製品カンパニー電子材料事業部が所管し、兵庫県三田市の三田工場で製造する製品全般について、

2023年3月から順次製造・販売を停止し、2024年3月までに事業から撤退する予定。

減摩合金・各種ハンダ
鉛滓・錫滓の精錬

中川金属精錬所

代表者 中川 譲 治

〒556-0022 大阪市浪速区桜川 1-6-22

TEL 06-6561-3759(代表)

「ニッケル需給と今後の動向」報告

JOGMEC

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構（細野哲弘理事長）はこのほど、金属企画部調査課・五十畑樹里氏の報告として、「世界のニッケル需給と今後の動向2021」を公表した。

内容項目は、ニッケルの生産フロー▽LMEニッケル価格・在庫動向▽ニッケル生産動向▽ニッケル生産企業動向など。このうち「まとめ」の要約を掲載する。

* * *

2021年は、2020年の新型コロナのパンデミックの影響から、徐々に経済活動の回復の兆しが見えてきたことから、ニッケルの需要も堅調に推移した。

供給面について、ニッケル鉱石や中間製品等の主要な生産国であるインドネシアでは、中国企業を中心に投資が活発化し、高付加価値化を背景としたプライマリーニッケルの増産が行われており、2022年以降は供給過剰に転じるものと予測されている。現在インドネシアにて開発・生産が予定されているプロジェクトが予定通り稼働すれば、ニッケルが供給不足に陥る可能性は低いものと考えられる。また、青山集団のNPIからのニッケルマットの製造も、LIB向け需要を補う新たな供給元としての可能性を有している。

ただし、中長期的な視点でみれば、LIB需要が拡大することで、2020年代後半には世界でニッケルが不足するという懸念もある。Nornickel社の分析によると、ニッケル需要の年平均成長率（CAGR）は、2020～2030年で7%である一方、供給のCAGRは同期間、6%であるとされている。加えて、現在もコロナの影響は継続しているほか、すでに資金不足の問題などから稼働できていないプロジェクトも存在する。2021年はLME在庫の減少傾向も顕著であり、通年で供給不足が予測されているが、2022年にはインドネシアにて計画されているプロジェクトの立ち上がりにより、どの

電気亜鉛・蒸留亜鉛販売
亜鉛ドロス・滓買入

大阪亜鉛工業株式会社

取締役社長 林 昭宏

本社・工場 〒555-0001 大阪市西淀川区佃 4-14-3
電話 06-6471-2531~5

FAX 06-6471-5781

東京営業所 〒131-0043 東京都墨田区立花 2-4-5
電話 03-3618-2351~2

程度の供給量の増加が認められるか、引き続き各社の動向に注視したい。

需要面に目を転じてみると、2021年上半年期の世界のEV販売台数は2019年同期比で140%増となり、2021年の同販売台数は560万台に達するものと推計されているなか、将来的なEV普及を見込んだLIB向けのニッケル需要は、当面は増加傾向が継続するほか、ニッケル需要全体に占めるポジション高まってゆくものと推測される。このような状況下、インドネシアでは資源の高付加価値化のため、同国政府はEV産業の発展を推進し、海外からの投資を積極的に呼び込む姿勢を示している。現在、CATL社とLGES社の2社が投資を牽引しているが、ニッケル製錬分野と比較すると、特に中国企業からの投資状況はいまだ活発化している状況とはいえ、東南アジア地域のEVハブとなる前に、まずは同地域にてEVがどの程度普及するかのみならず、現在EV市場を牽引している中国や欧州市場の今後の発展と普及見通しといったマクロな視点での需要面のほか、中国や欧米諸国と比較した際のインドネシアのコスト競争力といった供給面での立ち位置によって、同国におけるEV産業の発展は左右されるといえる。また、今後のLIB技術動向の発展によっては、必要とされる使用量原単位も低減が進むといった不確定要素も内在している。

2020～2021年にかけて、世界中が社会の脱炭素化に向けて本格的に舵を切り始めたが、ニッケルのサプライチェーンにおいても、カーボンニュートラルは重要な課題と位置付けられている。今後は上流や下流といった分野を問わず、リサイクルプロセスを含めたより生産的かつ効率的な生産方法を開発することが必要とされている。

鑄物用銅合金地金

特殊銅合金各種製造
砲金くず・ラジエーターくず等



角丁原料全般買受け

京和ブロンズ株式会社

京都府久世郡久御山町佐山新開地314
電話 0774-43-6700(代表)

日刊金属
外電配信料
(税込)

6 ヵ月 : 46,200 円
12 ヵ月 : 92,400 円

非鉄金属需給動向1月報告

貴金属 ウクライナ問題で上昇

JOGMEC

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構（細野哲弘理事長）がこのほど公表した1月の非鉄金属需給動向報告で、金は米実質金利の上昇で値抑制も、ウクライナ情勢の悪化で貴金属全般が上昇した。

■金市況動向（US\$/oz）

①米FRBのタカ派色を抑えた発言で緩やかに上昇：1,810.2US\$/ozでスタート。原油価格の上昇や新型コロナウイルス急拡大による労働力減少への懸念などから上昇した。しかし6日以降、米実質金利が0.7%台まで上昇したことが圧力となり下落、1,800US\$/oz近辺で推移した。11日、米連邦制度準備理事会のPowell議長がインフレが高止まりすればより多く利上げする、と発言したが、タイミングは未定だとしてインフレヘッジの動きとなり、米消費者物価指数も+0.5%と概ね予想通りだったことで米ドルや米金利が軟化、翌日以降1,820US\$/oz近辺まで上昇した。

②ウクライナ侵攻危機など地政学的リスクで上昇：後半は、米の早期利上げ観測や、原油価格も85US\$/bbl台と21年10月の高値を超えたのに加え、ウクライナに対するロシアの軍事的圧力で欧米との緊張が高まっているほか、イエメン内戦、北朝鮮のミサイル発射など上昇要因が重なり、25日、月最高値の1,841.5US\$/ozをつけた。

③米ゼロ金利政策解除の意向で急落：27日、米連邦公開市場委員会で、ゼロ金利政策解除の意向が示され

たことなどから27日以降2日間で50US\$/oz以上急落し、28日に当月最安値の1,789.2US\$/ozをつけ、翌週1,792.2US\$/ozに値を戻し越月した。

■白金族（PGM）

①プラチナ市況：月を通じて概ね金と連動する動き。969US\$/ozでスタート、10日に当月最安値の946US\$/ozをつけたが、12日月初水準に値を戻し、19日以降再び上昇。20日に当月最高値の1,050US\$/ozをつけ、1,018.5US\$/ozで越月した。

②パラジウム市況：1,881US\$/ozでスタート、6日に当月最安値の1,852US\$/ozをつけ、18日まで1,900US\$/oz前後で横ばい推移。19日以降は、ウクライナの緊張で、西側諸国のロシア制裁によるパラジウム供給への懸念の高まりを受けて上昇基調となり、21年9月以来の高値となる2,431.tUS\$/ozで越月した。



鉛滓・鉛管板屑

株式会社 國樹商店

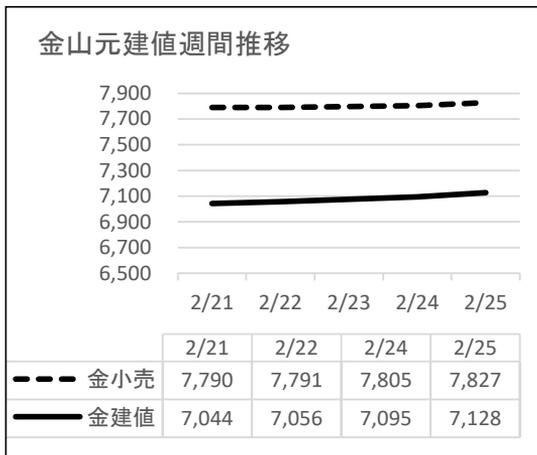
〒556-0011 本社 大阪市浪速区難波中1-16-8
電話 06-6649-0045 代表

〒556-0011 工場 大阪市浪速区稲荷1-11-5
電話 06-6561-7331~2

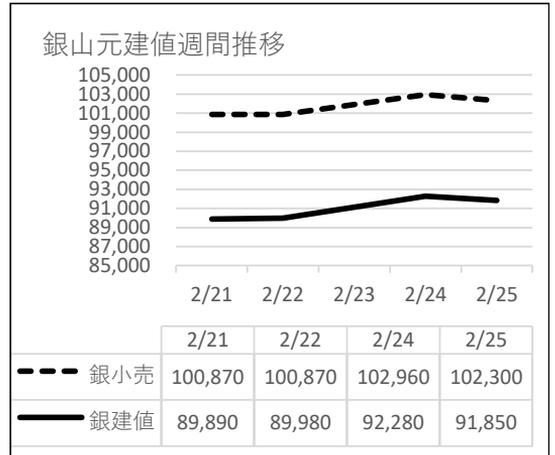


金銀山元建値週間推移

2月21日~2月25日



	1月平均	建値	小売
金(¥/g)		6,259.63	6,902.83
銀(¥/kg)		87,660	97,753



故銅市況

25日朝入電の海外相場は、LME(ロンドン金属取引所)銅相場で、直物の前場売値が、前営業日の1万0,005.00ドルより22.00ドル安の9,983.00ドル。直物の終値は、前営業日の9,906.50ドルより12.00ドル高の9,918.50ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の9,965.00ドルより30.00ドル安の9,935.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の9,866.00ドルより2.00ドル安の9,864.00ドル。COMEX(ニューヨーク商品取引所)銅相場の3月限は、前営業日の448.40セントより2.80セント安の445.60セント。SHFE(上海期貨交易所)銅相場の4月限は、前営業日の7万1,340元より370元安の7万0,870元。

25日の東京為替市場TTSレートは、前日の115.95円より0.62円の円安ドル高、1ドル=116.57円。25日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は9,983.00ドル。この値と25日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の119万8,000円より3,000円高の120万1,000円。この日、電気銅建値は120万円に据え置かれた。

為替動向

24日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで大幅に下落。16時、前日と比べ0.0210ドルのユーロ安ドル高、1ユーロ=1.1110ドル~1.1120ドルで推移。ロシアのウクライナ侵攻を受け、不測の事態に備え流動性の高いドルを買う動きが広がった。ロシアに対する経済制裁が強まることでロシア経済の停滞やロシアからの資源輸出停止も予想され、原油や天然ガスが急騰。ロシアへのエネルギー依存度が高いユーロ圏経済への悪影響が懸念されユーロ売りが進んだ。

24日のニューヨーク外国為替市場で円相場は反落。

故銅直納問屋筋の平均値頃感(単位は千円)

(2月21日更新)

直納問屋筋によるロット物(5トン前後)の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が926~931、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは891~896、並銅は856~866、込銅(高品位=約97%)は846、セバは693~698。コーベルは要り用筋で634、それ以外は619ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋644、それ以外614~624どころの値頃。並青銅鋳物削粉は749~754どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が906~926、上銅新くずが871~891、普通上銅が846~866、2号銅線が838~858、並銅が836~856、込銅(94-97%)が784、込銅(90-93%)が786、下銅が462~512、セバが658~693、コーベルが574~619、黄銅棒地が569~614、黄銅削粉が564~609、黄銅ラジが529~537、交叉ラジが489~546、黄銅鋳物が487~494、送りが292~311、上青銅鋳物が746~766、並青銅鋳物が726~741、上青銅鋳物削粉が741~761、並青銅鋳物削粉が716~736どころ。

アルミニウム二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

関東地区(2月後半)

2S=255円~270円、63S=239円~265円、アルミホイール(1P)=151円~260円、ビス付サッシ=142円~146円、エンジンコロ=145円~148円、込合金(機械鋳物)=143円~146円、缶プレス(ソフト)=116円~121円。

関西地区(2月後半)

2S=227円~230円、63S=230円~233円、印刷版=220円~223円、アルミホイール(1P)=201円~211円、ベースメタル=174円~178円、機械鋳物=121円~124円、ドライ粉=100円~103円、ビス付サッシ=118円~123円、缶プレス=108円~108円。

前日と比べ0.55円の円安ドル高、1ドル=115.50円~115.60円で取引を終えた。24日、ロシア国防省は多数の軍事インフラに対するウクライナへの空爆を発表。米国のバイデン大統領はロシアに対する「強力な追加制裁と新たな輸出制限」を承認した。ロシアのウクライナ侵攻で欧米をはじめとする西側諸国とロシアが激しく対立することになると世界経済への影響は甚大になると懸念され、多くの投資家に運用リスクを回避する動きが広がった。

25日午前の東京外国為替市場で円相場は下落。10時、前日17時と比べ0.81円の円安ドル高、1ドル=115.42円~115.43円だった。バイデン大統領が「ロシアに対し追加の強力な制裁と新たな輸出制限を実施する」と述べたことで世界景気が悪影響を受けるとの見方が広がり先行き不透明感から流動性の高いドルが幅広い通貨に対して買われていた。25日の日経平均株価は反発しており、これに合わせた円売りも出た。円は対ユーロでも下落。同じく0.35円の円安ユーロ高、1ユーロ=129.23円~129.24円だった。

故銅・銅滓 アルミ原料

高価即金買入

——ご照会を乞う。

森下商店

大阪市西成区南津守7-12-46

TEL (06)6659-5577~8

FAX (06)6659-5579



LME銅相場は続落 3か月物終値は9,864.00ドル
 COMEX銅相場も続落 SHFE銅相場は反落
 LME非鉄相場は総じて堅調 ニッケル、アルミ、亜鉛は高騰
 経済制裁で供給懸念、アルミ3か月物終値は3,394.50ドルに急騰



25日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、2月24日入電の10,005.00ドルより22.00ドル安の9,983.00ドル。2営業日の続落で0.37%安。この週0.32%の下落。2月に入って3.15%の上伸。3か月物の前場売値は、2月24日入電の9,965.00ドルより30.00ドル安の9,935.00ドル。3営業日の続落で0.25%安。この週0.40%の下落。2月に入って3.25%の上伸。

LME公認倉庫の銅在庫は、現地2月23日の7万4,325トンより425トン増の7万4,750トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、2月限が、2月24日入電の448.15セントより2.75セント安の445.40セント。3営業日の続落で1.45%安。この週1.45%の下落。2月に入って3.51%の上伸。中心限月に当たる3月限は、2月24日入電の448.40セントより2.80セント安の445.60セント。3営業日の続落で1.41%安。この週1.41%の下落。2月に入って3.39%の上伸。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、3月限が、2月24日入電の7万1,260元より410元安の7万0,850元。3営業日ぶりの反落で0.37%安。この週0.92%の下落。2月に入って0.55%の上伸。中心限月に当たる4月限は、2月24日入電の7万1,340元より470元安の7万0,870元。3営業日ぶりの反落で0.41%安。この週0.96%の下落。2月に入って0.58%の上伸。

錫は続伸 直物は3営業日で約4%高

LME錫相場の前場売値は、直物が、2月24日入電の4万4,750.00ドルより1,045.00ドル高の4万5,795.00ドル。3営業日の続伸で3.73%高。この週3.73%の上伸。2月に入って7.88%の上伸。3か月物の前場売値は、2月24日入電の4万4,450.00ドルより875.00ドル高の4万5,325.00ドル。5営業日の続伸で3.19%高。この週3.19%の上伸。2月に入って8.56%の上伸。

LME公認倉庫の錫在庫は現地2月23日の2,250トンより10トン減の2,240トン。

鉛は続伸

LME鉛相場の前場売値は、直物が、2月24日入電の2,347.50ドルより22.50ドル高の2,370.00ドル。2営業日の続伸で1.50%高。この週0.30%の上伸。2月に入って2.95%の上伸。3か月物の前場売値は、2月24日入電の2,342.00ドルより24.00ドル高の2,366.00ドル。2営業日の続伸で1.74%高。この週0.90%の上伸。2月に入って3.54%の上伸。

LME公認倉庫の鉛在庫は現地2月23日の4万4,500トンより75トン減の4万4,425トン。

亜鉛は上伸

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、2月24日入電の3,615.50ドルより54.50ドル高の3,670.00ドル。2営業日の続伸で1.16%高。この週0.04%の上伸。2月に入って0.71%の上伸。3か月物の前場売値は、2月24日入電の3,604.00ドルより45.00ドル高の3,649.00ドル。3営業日の続伸で2.10%高。この週0.52%の上伸。2月に入って0.88%の上伸。

LME公認倉庫の亜鉛在庫は現地2月23日の14万6,200トンより425トン減の14万5,775トン。

アルミも続伸 アルミ合金はまちまち 北米特殊は続落

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、2月24日入電の3,323.50ドルより195.50ドル高の3,519.00ドル。2営業日の続伸で2.89%高。この週6.19%の上伸。2月に入って13.15%の上伸。3か月物の前場売値は、2月24日入電の3,290.00ドルより155.00ドル高の3,445.00ドル。2営業日の続伸で2.33%高。この週5.51%の上伸。2月に入って11.65%の上伸。

LME公認倉庫のアルミ在庫は現地2月23日の83万3,900トンより万9,750トン減の82万4,150トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、2月24日入電の2,651.00ドルより1.00ドル高の2,652.00ドル。上伸して0.04%高。この週0.04%の上伸。2月に入って6.29%の上伸。3か月物の前場売値は、2月24日入電より横ばいの2,660.00ドル。この週横ばい。2月に入って6.61%の上伸。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、2月24日入電の2,800.00ドルより9.00ドル安の2,791.00ドル。2営業日の続落で2.41%安。この週3.76%の下落。2月に入って2.89%の下落。3か月物の前場売値は、2月24日入電の2,814.00ドルより4.00ドル安の2,810.00ドル。2営業日の続落で2.26%安。この週3.64%の下落。2月に入って1.82%の下落。

ニッケルは急騰

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、2月24日入電の2万4,950.00ドルより1,155.00ドル高の2万6,105.00ドル。2営業日の続伸で1.77%高。この週6.55%の上伸。2月に入って14.75%の上伸。3か月物の前場売値は、2月24日入電の2万4,600.00ドルより1,050.00ドル高の2万5,650.00ドル。2営業日の続伸で3.14%高。この週6.43%の上伸。2月に入って15.36%の上伸。

LME公認倉庫のニッケル在庫は現地2月23日の8万1,300トンより168トン減の8万1,132トン。

LME公示価格(US\$)／2月24日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	9,983.00	45,795.00	2,370.00	3,670.00	3,519.00	2,652.00	2,791.00	26,105.00
	前営業日比	▲ 22.00	1,045.00	22.50	54.50	195.50	1.00	▲ 9.00	1,155.00
先物	公示価格	9,935.00	45,325.00	2,366.00	3,649.00	3,445.00	2,660.00	2,810.00	25,650.00
	前営業日比	▲ 30.00	875.00	24.00	45.00	155.00	0.00	▲ 4.00	1,050.00

(2月25日 入電・現地 2月24日)

海外非鉄金属相場

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 銅AG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 錫HG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 鉛, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 亜鉛SHG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: アルミHG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: アルミ合金, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 北米特殊アルミ合金, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: ニッケル, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

NYコモックス相場
出来高: 1ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント

Table with columns: 銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム. Rows: 2月限, 3月限, 4月限, 5月限, 6月限, 前日比, 出来高.

採算価格
フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

Table with columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

フリー・マーケット

米国生産者価格(地金)

Table with columns: 銀(セント/オンス) EH社, 銀(セント/オンス) HH社. Values: 2490.0 (60.0), 2470.5 (19.0).

NY相場

Table with columns: 取引業者銅(セント/ポンド), 2号銅繰くず(セント/ポンド). Values: 256.35, 353.35.

ロンドン相場(ドル)

Table with columns: 金(オンス), アンチモン99.65%(トン), ビスマス99.9%(ポンド), カドミウム99.99%(ポンド), インジウム99.99%(キロ), セレンウム99.5%(ポンド), スポンジチタン99.5%(キロ), フェロモリブデン欧州産65%(キロ), コバルトカソード99.8%(ポンド), マグネシウム中国産99.9%(トン), タングステンAPT(純分10キロ), タンタル鉱石30-35%(ポンド). Values: 1936.30 (31.60), 13200, 3.80, 1.40, 260, 9.20, 8.50, 43.50, 34.00, 7500, 320.0, 83.

KLTM編(MYR/KG, 出来高トン)

Table with columns: (24日), (25日). Rows: 相場, 出来高, ドル建て価格, ODレート, M\$/US\$レート, 採算円/キロ, US\$採算円/キロ.

LME在庫(トン)

Table with columns: 在庫, 増減. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル.

上海在庫(トン)

Table with columns: 在庫, 増減. Rows: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル.

LMEプレマーケット(ドル)

Table with columns: 先物気配, (2/25), (3:00AM現地). Rows: 銅, アルミ, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

上海相場

Table with columns: トン当たり元, 1ロット=5トン・増値税込. Rows: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル. Values: 70850, 22820, 24770, 15445, 178370, 70870, 22840, 24785, 15485, 177740, 410, 60, 345, 60, 110, 60505, 94775, 42988, 6630, 72359.

*25日のKLTMは取引がありません。

Table with columns: 為替相場, LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海. Rows: ドル・円, TTS, 116.57, +0.62.

非鉄金属製品相場

(2月25日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)
銅小板2.0ミリ	1470	1410	亜鉛板0.3×3×7	620	620	V V F
建築用0.3ミリ	1520	1460	印刷用亜鉛板トッパン用	790	790	2C×1.6 52~54
銅大板2×1×2	1600	1610	給水管13ミリ	300	300	2C×2.0 93~96
銅管(ベース)	1620	1590	鉛板1.5ミリ	560	560	3C×1.6 96~99
水道用管(m当たり)13ミリ	1530	1515	鉛線3ミリ	460	460	3C×2.0 143~146
銅棒25ミリ	1400	1400	軽圧品	大阪	東京	I V
銅条1.5×100	1440	1430	アルミ箔0.007ミリ	1075	1035	1.6mm 29.8~31.7
銅線0.9ミリ	1490	1470	〃 小板1ミリ	710	665	5.5sq 81.3~86.4
銅帯6×50	1420	1410	〃 大板1ミリ	690	655	14sq 203~216
銅平角線	1690	1640	〃 5052板	745	705	CV-T
黄銅小板2.0ミリ	1215	1175	〃 5083板	760	720	600V 3C×38 1543~1640
〃 0.3ミリ	1245	1205	〃 2017板	1200	1265	600V 3C×60 2372~2522
黄銅大板2×1×2	1365	1355	〃 線3ミリ	725	655	600V 3C×100 3986~4237
黄銅管	1730	1635	〃 快削棒50ミリ	910	870	6kV 3C×38 2522~2676
復水器用黄銅管	1705	1605	〃 合金棒50ミリ(17S)	895	850	6kV 3C×60 3507~3721
黄銅棒快削25ミリ	1015	1020	〃 合金棒50ミリ(56S)	850	810	CVV (関西-関東)
六角棒	1045	1050	貴金属(一般小口向け)			3C×2 123-126
四角棒	1075	1080	白金(グラム)		◆4407	4C×2 164-168
鍛造用	1055	1060	パラジウム(グラム)		◆10125	6C×2 234-239
ネーバル	1155	1160	金(グラム)		◎7827	7C×2 267-274
高力	1155	1160	銀(キログラム)		◆102300	合金鉄 12月輸入単価 (CIF)
黄銅線6ミリ	1420	1385	レアメタル輸入価格	12月通関 (CIF)		フェロマンガ2%以上炭素含有 193
黄銅平角線ロール仕上	1620	1595	金属ケイ素(99.99%未満)	723		〃 その他 324.1
黄銅条1.5×100	1215	1195	モリブデン酸化物	3261		フェロシリコン55%以上 316
リン青銅板一般用1.0ミリ	2810	2970	タンタル	55322		フェロクロム4%以上炭素含有 207.7
〃 バネ用0.3ミリ	3090	3250	マグネシウム	612		フェロモリブデン純分60%以上 3040
リン青銅棒25ミリ	2910	3090	コバルト	6881		フェロバナジウム 2927
リン青銅線3ミリ	3280	3450	インジウム	28447		フェロニッケル33%未満 449.1
洋白板一般用1.0ミリ	3520	3560				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ 326
〃 バネ用1.0ミリ	3650	3690				

減摩合金	2月16日改定	銅合金地金	2月1日発表
500kg以上、大口価格)		(標準価格)	大阪
1種	5735	BC 1種	1200
2種	5545	2種	1560
3種	5350	3種	1655
4種	4675	6種	1335
5種	4515	7種	1435
7種	1420	YBSC 3種	1060
8種	1190	LBC 3種	1595
9種	1030	PBC 2種	1685



非鉄金属材料相場

キロ当たり円	◎上げ ◆下げ		(2月25日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		39,000 ~ 42,000(1)	
	大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	高値	安値
山元建値					電気銅		1200(21)	金 7,128(25)
() 実施日					電気鉛		327(15)	銀 91,850(25)
					電気亜鉛		469(22)	錫(99.99%) 6,400(17)
1トン以上外税持込							高値	安値
非鉄原料 (炉前材)							高値	安値
1号銅線	1062	1057	電 気 銅	◎ 1168	◎ 1163	◎ 1170	◎ 1165	
2号銅線	1010	—	電 気 亜 鉛	451	445	451	445	
上銅 (新切)	1039	1022	蒸 留 亜 鉛	439	433	439	433	
雑 ナ ゲ ッ ト	883	888	再生ダイカスト亜鉛2種	370	364	370	364	
並 銅	962	955	再 生 亜 鉛 (98%)	323	317	323	317	
下 銅	940	928	電 気 鉛	304	301	303	300	
銅 削 粉	942	931	再 生 鉛 1 号	295	285	291	286	
銅 さ い (30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	300	296	296	292	
新切黄銅セバ	802	808	錫 1 号	◎ 5400	◎ 5350	◎ 5400	◎ 5350	
コ ー ベ ル	769	766	ア ン チ モ ン	1700	1650	1700	1650	
黄銅棒地	753	754	ニッケル(メッキ用)	◎ 3000	◎ 2950	◎ 3000	◎ 2950	
黄銅削粉	747	750	コ バ ル ト	◎ 9900	◎ 9600	◎ 9900	◎ 9600	
並 黄 銅	680	659	セ レ ニ ウ ム	3300	3100	3300	3100	
黄銅ラジエター	606	586	ビ ス マ ス	1250	1150	1250	1150	
交叉ラジエター	629	616	カ ド ミ ウ ム	500	450	500	450	
黄銅鑄物	685	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	600	580	600	580	
山 送 り (55%)	395	—	アルミ地金 99.70 %	◎ 445	◎ 441	◎ 447	◎ 443	
上青銅鑄物	829	—	アルミ二次地金 99 %	322	317	322	317	
並青銅鑄物	827	818	〃 90 %	276	271	276	271	
上青銅鑄物削粉	822	—	アルミ二次合金ADC12	451	446	454	449	
並青銅鑄物削粉	812	806	鑄 物 用 C2BS	476	471	478	473	
新切リン青銅(伸銅)	—	1073	青銅合金地金 3種	1600	1590	1670	1660	
〃 (鑄物)	949	—	〃 6種	1290	1280	1300	1290	
リン青銅削粉	862	854	ハ ン ダ 錫 60 %	3850	3810	3870	3840	
新切洋白(電子材)	872	859	〃 50 %	3315	3265	3335	3305	
新切亜鉛	178	178	〃 40 %	2835	2775	2790	2760	
ダイカストくず	143	143	減 摩 合 金 2 種	5510	5480	5515	5485	
亜鉛ドロス	121	132	〃 4 種	4650	4625	4655	4625	
上 鉛	110	108	〃 7 種	1375	1325	1375	1325	
電池素鉛ケース込	20	20	ステンレス・特金	18-8ステンレス 新切		135	135	
活 字 鉛	95	92		〃 ダライ粉		120	120	
新切アルミ1級	252	249		高耐食ステンレスSUS316		230	230	
新切サッシ1級	252	247		耐熱ステンレスSUS310		310	310	
新切合金1級	242	237		13クローム 新切		30	28	
機械鑄物1級	145	135		ハイス 9種		210	210	
ビス付サッシP	171	160						
合金削粉P	105	100						
込 ガ ラ P	100	92						
カ ン ・ バ ラ	155	149						



非鉄金属材料相場面
PW:KINZOKU2202